

2022 年度大学院文学研究科中国語中国文学コース・ガイダンス

【目標】

高い中国語（日本語）の運用能力
中国の文化・社会・歴史に対する深い理解
→良質で高度な学識を持つ専門家の育成

【方針】

語文双修、古今兼学（深い専門、広い学識）
→いろいろな授業に出て学識を広げ、深める

【求められること】

修士論文・博士論文の執筆（原則として日本語）
研究の国際化に対応できる人材
→日本語・中国語・英語による学術報告、ならびに論文の執筆
➤ 積極的に国内外の学会・研究会に参加し、学外・他分野の研究者と交流してください。
➤ （外国人学生のみなさんは日本で中国語中国文学を学び、研究する意味をよくお考えください）

【指導教員】

○岡崎由美（古典文学）
○楊達（中国語教育）
○高屋亜希（中国近現代文学・文化）
○松原朗（古典文学）（募集停止）
○千野拓政（近現代文学・文化研究）（募集停止）
○内藤正子（文法学）（募集停止）

【設置科目】

研究指導、演習（指導教員の演習科目は必ず履修してください）
研究、講義（それぞれ文学と語学に分かれています）

【参加する活動】

学会活動・学術イベントへの協力
コースの行事（合宿〈ワークショップ、学習班、発表の指導その他〉、各種イベントなど）
学部学生の指導補助（TA、自学自習 TA、高度 TA、合宿など）
年に数度の学術報告・論文執筆、国際的な学術活動への参加
（博士学位申請論文は、国際学会・全国学会での発表、国際学術誌・全国学術誌への論文掲載、ならびに事前の構想発表が求められます）